

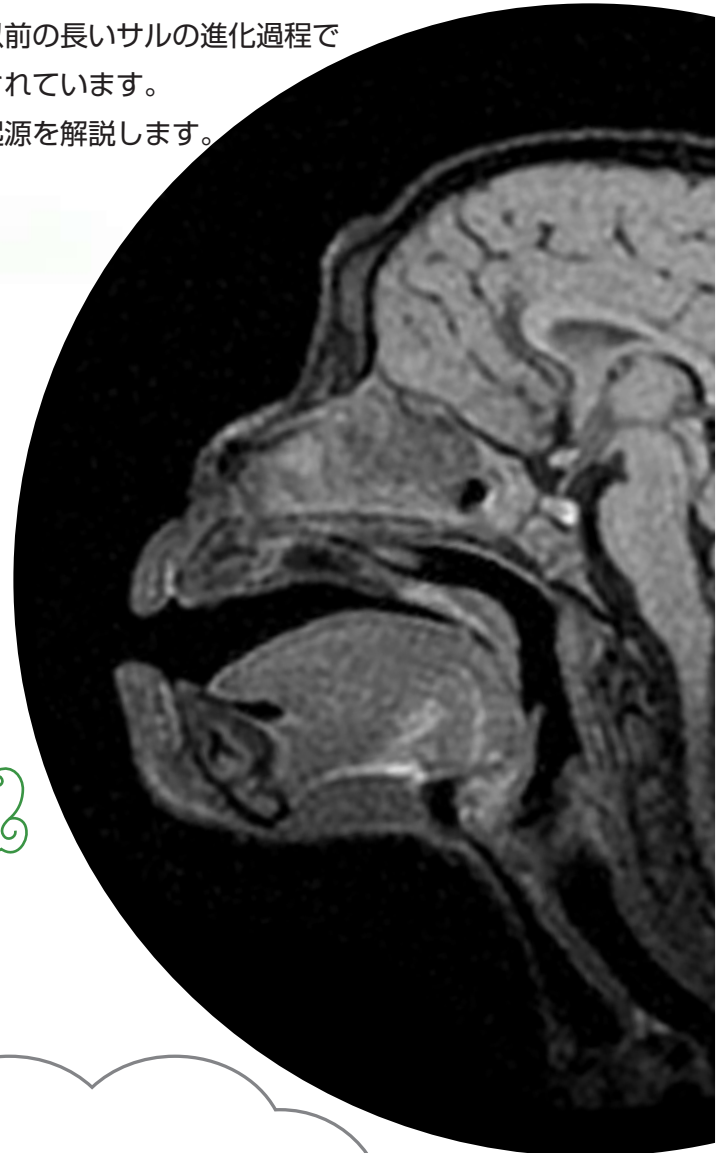
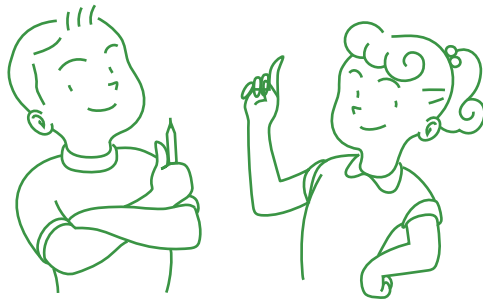
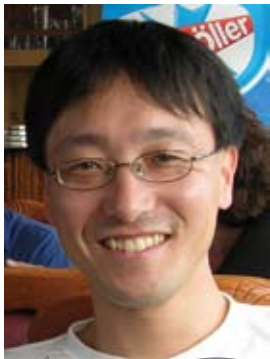
サルの声とヒトの話しことば

言語の発達や進化に欠かせない話しことばの進化プロセスが、サルの形態画像や音声分析により明らかになってきました。話しことばには、人類起源以前の長いサルの進化過程で出てきた多くの産物が転用されています。ヒトの話しことばのサルの起源を解説します。

スピーカー：西村 剛 先生
霊長類研究所・准教授

日 時：平成 23 年 10 月 15 日 (土)
10:30 ~ 12:00

場 所：京都大学総合博物館
ミューズ・ラボ



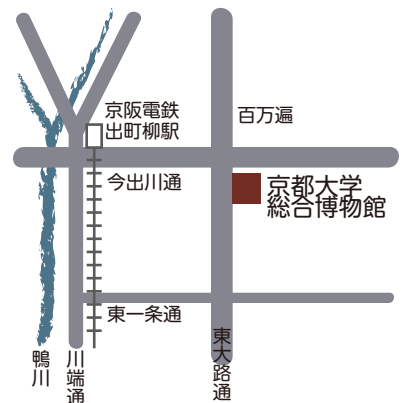
サルはヒトのおしゃべりを真似できません。テナガザルの声を聞きながら、チンパンジーの MRI 画像をみながら、私たちが日ごろ何気なくしゃべっている話しことばがどのように進化してきたのかを解説します。



- 申し込み：不要です。直接博物館へお越しください。
- 対 象：小学生高学年以上(小学生の場合には保護者同伴)
- 参加費：無料です。
ただし、博物館への入館料は必要です。
一般400円/大学生・高校生300円/中学生・小学生200円
※70歳以上の方、身体障がい者の方は無料です。

● 問い合わせ：〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学総合博物館
TEL 075-753-3272

ホームページ <http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/indexj.html>



京都バス「百万遍(ひゃくまんべん)」下車徒歩約1分
京阪電鉄「出町柳(でまちやなぎ)」駅下車徒歩約15分
※駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用下さい。